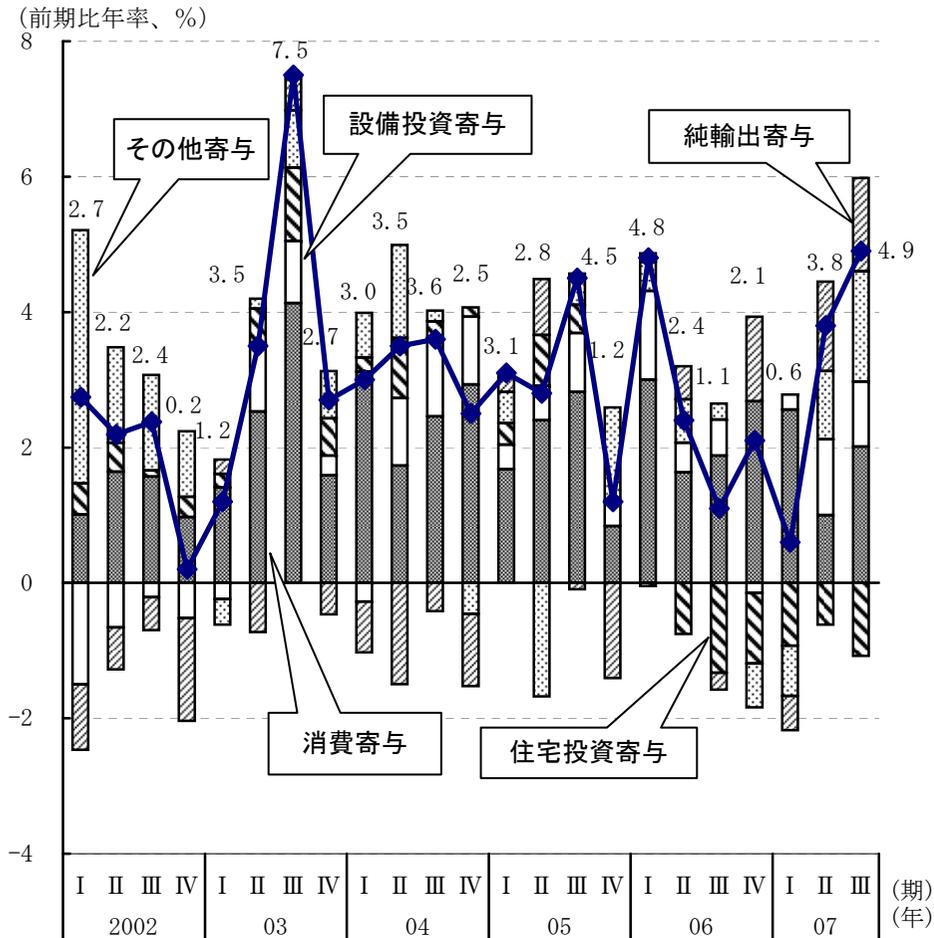


1. アメリカ

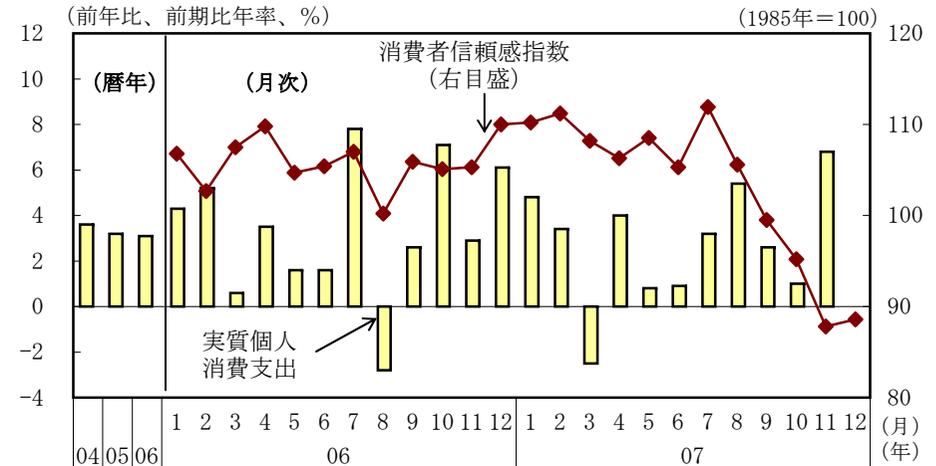
住宅建設の減少等により、引き続き景気回復は緩やかなものとなっている。先行きについては、サブプライム住宅ローン問題を背景とした景気の下振れリスクに留意が必要である。

GDP : 2007年7-9月期は前期比年率4.9%成長



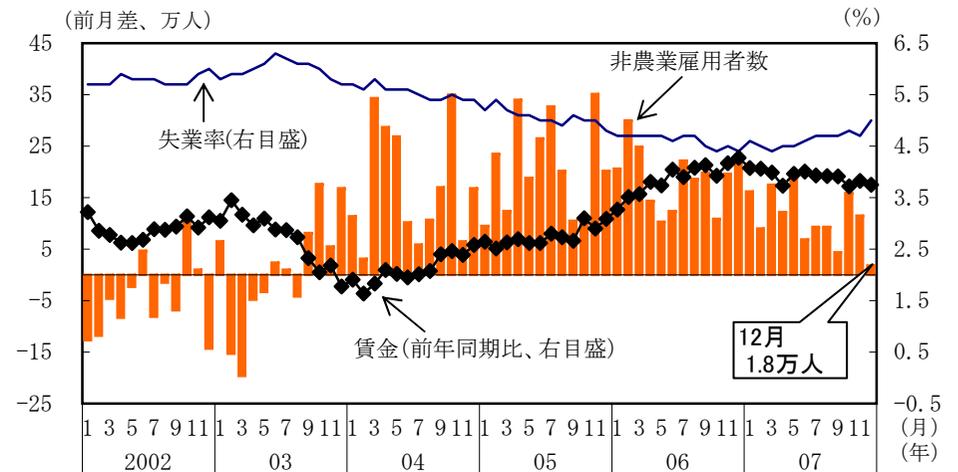
(備考) アメリカ商務省より作成。

消費：個人消費は緩やかに増加している



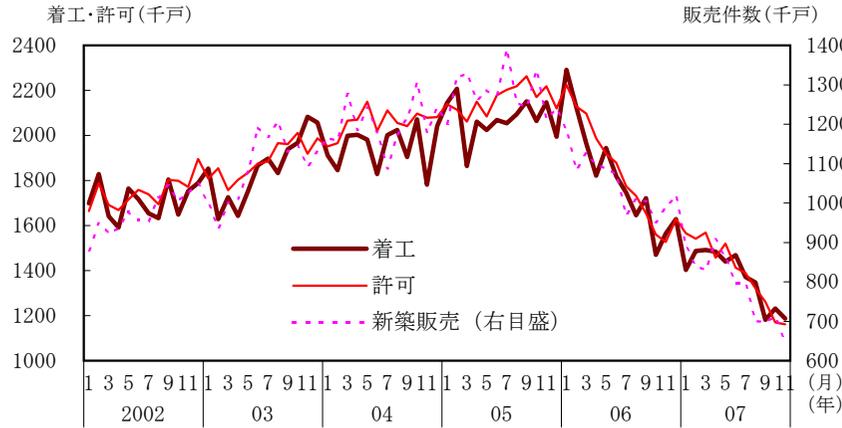
(備考) アメリカ商務省、コンファレンス・ボードより作成。

雇用：雇用者数の増加は緩やかであり、失業率はやや上昇している



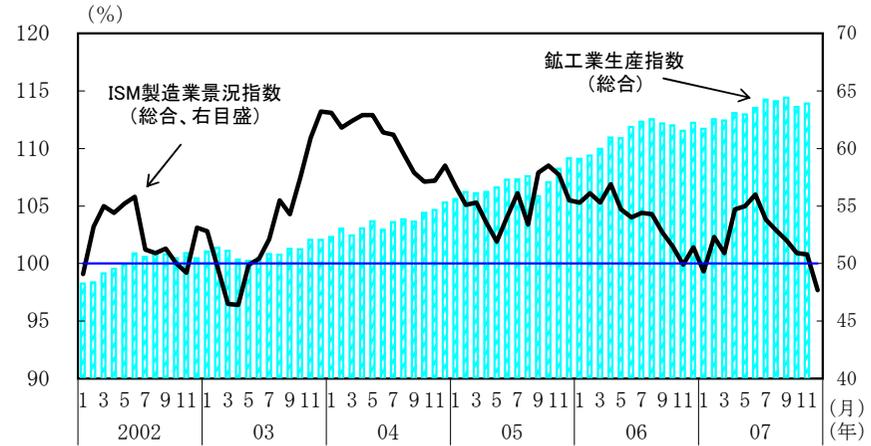
(備考) アメリカ労働省より作成。

住宅:住宅建設は減少している



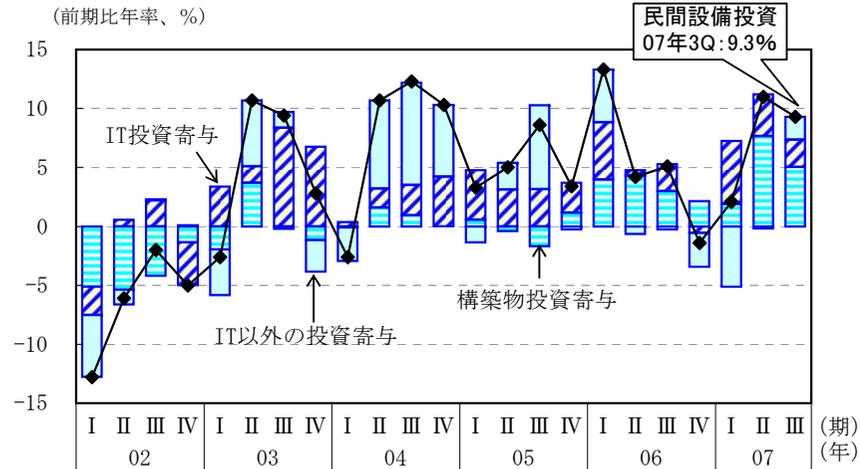
(備考)アメリカ商務省より作成。

生産:生産はこのところ弱含んでいる



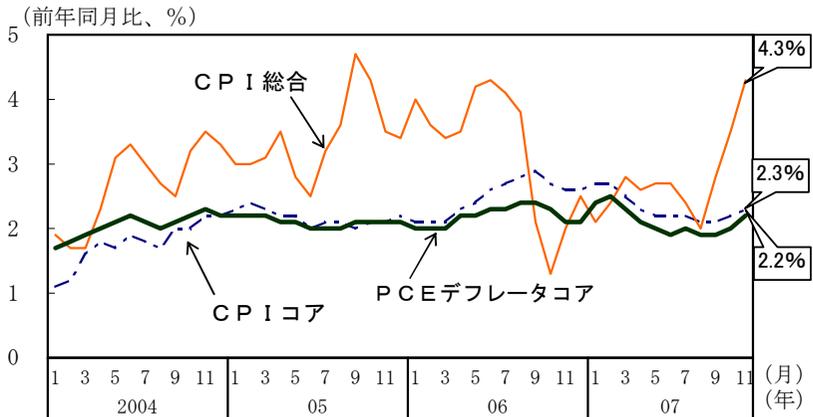
(備考)FRB、全米供給管理協会(ISM)より作成。

設備投資:設備投資は増加している



(備考)アメリカ商務省より作成。

物価:エネルギー価格等が上昇しており、コア物価上昇率が緩やかに上昇する動きもみられる



(備考)アメリカ商務省、労働省より作成。